

本時のねらい

報告する文章を書くための情報を集め、相手や目的を意識して集めた情報を比較し、伝えたい内容を選ぶことができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・児童一人ひとりがインターネット検索を活用して、仕事を調べるという活動を通して、自分が必要な情報を適切に取捨選択する力の向上を図った。
- ・プレゼンテーションソフトであらかじめ作成したテンプレートを配付し活用することで、伝えたいことをわかりやすくまとめるための手立てとなることをねらった。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・学習者用端末（Chromebook）
- ・プレゼンテーションソフト（Google スライド）
- ・プロジェクター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 「仕事について調べ、わかったことをまとめよう。」 ○自分が調べる仕事と調べ方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事調べがしやすいように、Classroom に仕事調べができるサイトのリンクをいくつか貼り付けておく。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が調べたい仕事を検索サイト等を使って調べ、必要なことをノートに書き写す。 ○仕事について調べたことを、プレゼンテーションソフトを使ってまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Classroom に貼り付けられている仕事調べ用のサイトのリンクを開き、自分の調べたい職業を検索し、調べさせる。準備したサイトに調べたい仕事がない場合や、より詳しく調べたい場合は、Google の検索エンジンから直接職業を入力して検索する。 ・児童がまとめやすいよう、プレゼンテーションソフトにあらかじめ記入例と入力用テンプレートを作成しておき、それに合わせて入力させる。 ・テンプレートにある項目以外にも書きたいことがある児童には自分で項目を付け足すように指示する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○進捗状況の確認と振り返りを行う。 ・次時はその続きから活動を行うことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトで自分が書いたものを見直し、どこまで進んでいるかを確認させる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：インターネット検索を利用して、仕事について調べる様子



写真2：調べたことの中から、自分が伝えたい情報をノートに書き写す様子

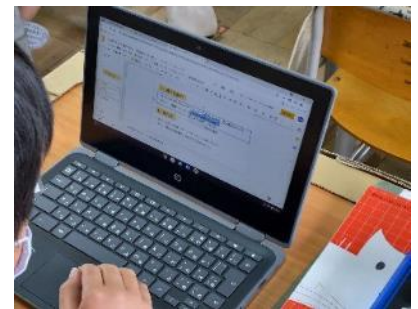


写真3：ノートに書き写したことをもとに、プレゼンテーションソフトに情報をまとめる様子

児童生徒の反応や変容

- ・1人1台の端末でインターネット検索を利用することや、いくつかのサイトのリンクを共有しておくことにより、自分が調べたいことをスムーズに調べることや仕事の様子を画像などで見ることができ、子どもたちの意欲の向上にもつながっていた。
- ・あらかじめテンプレートを作成し、それを使用することで、まとめ方の学習にもつながり、自分では書きだすことが難しい児童への支援にもなっていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・検索エンジンに自分で職業を入力すると、出てくる情報の量が多く、取捨選択が難しかったため、仕事調べ用のサイトのリンクを用意しておくことで、情報収集がしやすくなったと感じた。
- ・自由にまとめるのではなく、テンプレートを用いることで、どのような視点でまとめたらいいかが明確に示され、自分の考えの整理がしやすくなったと感じた。また、現時点では端末操作やキーボードでのローマ字入力に個人差があるため、その点でもテンプレートを用意したことは効果的だった。